

東京のまちづくり

特集1 東京の無電柱化

特集2
・小石川後楽園 夜間特別開園 深山“光”葉を楽しむ
・庭紅葉の六義園 夜間特別観賞

特別特集
・夢の島熱帯植物館 企画展「テラリウム展」
・旧古河庭園「紅葉とバラ、和と洋の秋」
・日比谷公園内「みどりの図書館」リニューアルオープン



令和7年度無電柱化の日フォトコンテスト都知事賞作品
(無電柱化したから“こんなにいい”風景・高校生以下の部)



令和7年度無電柱化の日フォトコンテスト都知事賞作品
(電柱がなければ“もっとよくなる”風景・高校生以下の部)



庭紅葉の六義園 夜間特別観賞

No.206(11・12月号)は、令和8年9月30日時点の情報に基づき作成しています。

東京の無電柱化

毎年11月10日は
「無電柱化の日」です

どうして無電柱化が必要なの？

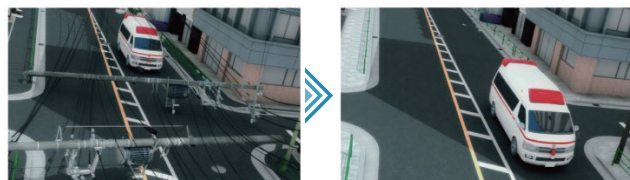
東京では、戦後、都市の発展に伴い、多くの電柱が建てられてきました。その結果、電線が張り巡らされ、電柱が立ち並び、都市景観を損ねるだけでなく、歩行者や車いすの通行の妨げになっています。また、災害時に電柱が倒れ、道路が塞がってしまう恐れがあります。首都直下地震が発生した場合にも甚大な被害が想定されることから、無電柱化の重要性が一層高まっています。



令和元年台風15号の影響による電柱倒壊(新島村 若郷地区)

無電柱化の目的は？

災害時、いざという時に



災害時に電柱が倒れて救急車や消防車の通行を妨げることがなくなります。また、電気や電話などのライフラインも壊れにくくなります。

歩きやすく安全な歩道に



電柱がなくなることで歩道は歩きやすくなり、ベビーカーや車いすなども安全に通行できます。

スッキリした東京の空へ



視線をさえぎる電線や電柱がなくなり、美しい街が生まれます。

都道の無電柱化はどこまで進んでいるの？

東京都では昭和61年度から計画的に無電柱化を進めています。計画幅員で完成した都道における地中化率は、令和7年度末現在で区部は69%、多摩地域は24%、都道全体では49%となり、整備済延長は1146kmとなっています。

※地中化率:整備対象延長に対する、電線共同溝本体が整備された延長の比率をいう。

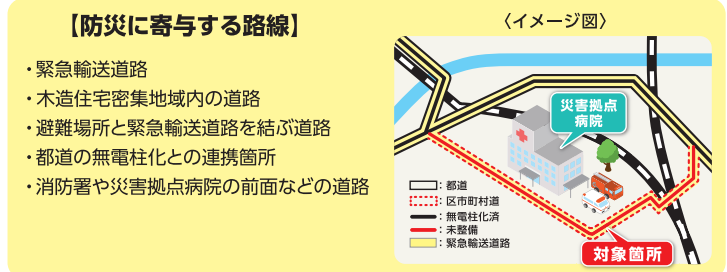
無電柱化はどのようなところで進めているの？

都道

重点的に整備するエリアを、環状七号線の内側から環状八号線の内側に拡大し、整備を進めています。また、人命救助や応急復旧の拠点となる「立」川広域防災基地」や「災害拠点病院」、「大規模救出救助活動拠点」、「消防署・警察署」等へのアクセスルートとなる都道で重点的に整備を進めています。

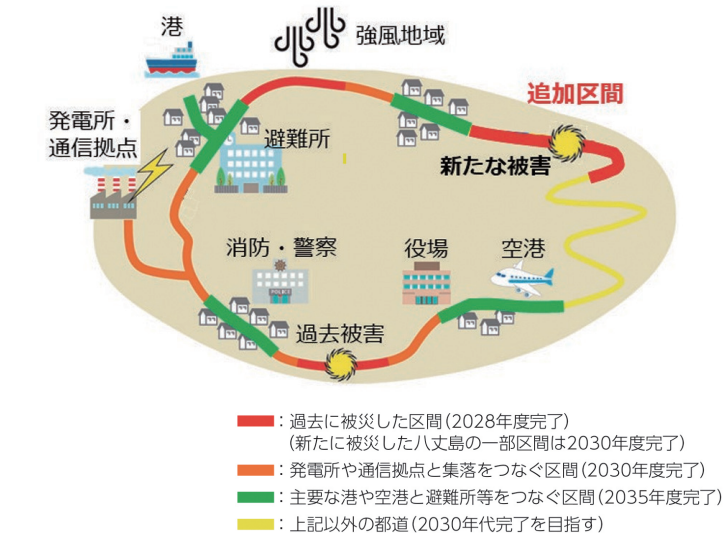
区市町村道

都道から災害拠点病院など防災上重要な拠点につながる区市町村道を抽出し、区市町村の無電柱化計画に位置付けられるとともに、早期に事業化が図られるよう、財政的・技術的支援を行っています。



島しょ地域

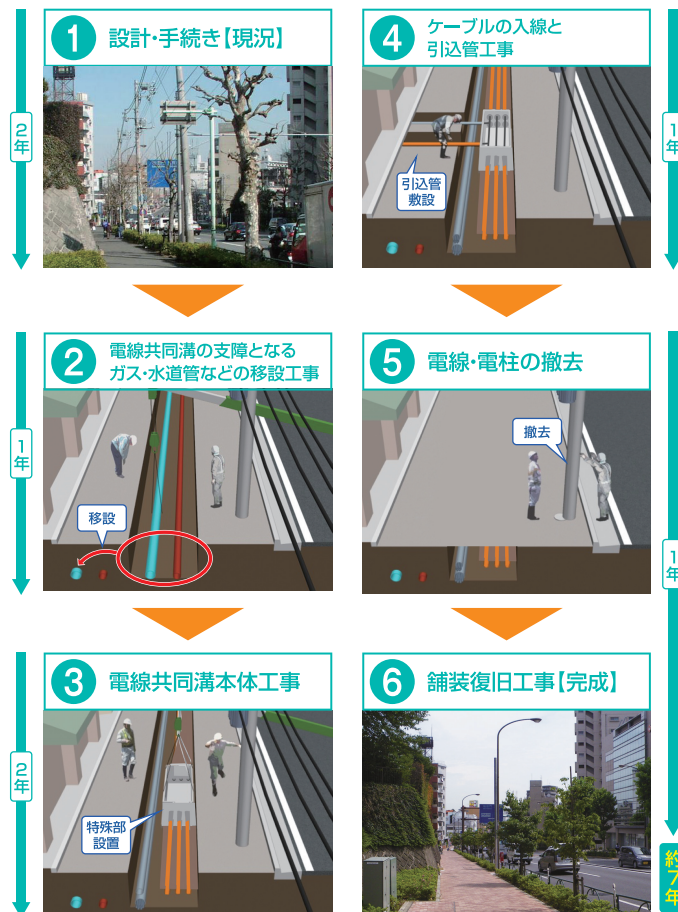
2019(令和元)年、2025(令和7)年の台風で電柱倒壊や断線等が発生し、島民生活に甚大な影響を与えました。これを踏まえ、災害時にも電力・通信を確保するため、無電柱化を一層推進するとともに、被災区間を新たに整備箇所と位置付け、現在事業中の区間と併せて整備を進めます。



また、利島・御蔵島は、船の就航率が低く災害復旧に時間を要すること等の理由から、他島のモデルとなるよう、「電柱のない島」に選定し、都道や港のみならず村道も整備を進めています。

どうやって無電柱化しているの？

電線共同溝の整備にあたっては、水道管やガス管などが埋設されている地下空間に新たに電線共同溝を埋設するため、約400mの道路の整備に一般的に約7年程度かかります。



第6回

無電柱化の日 フォトコンテスト

入賞作品発表

令和8年11月10日(火)に入賞者の表彰を行う予定です。
なお、本イベントの様子は東京都公式動画チャンネル「東京動画」でライブ配信する予定です。

問合せ先

道路管理部安全施設課無電柱化推進担当
TEL: 03-5320-5305
HP: <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/road/kanri/gaiyo/chichuka/mudentyuuka-top.html>

ぜひ
ご覧ください!



イキモノのイキな話 156



※実際は照明を落として展示しています。

アイアイの細長い指は何のため？

上野動物園・飼育展示課・西園飼育展示係 青木孝平

アイアイは、マダガスカルに暮らす夜行性のサルの仲間です。大きな耳やふさふさの尾、鋭く伸び続ける前歯など、一般的なサルとは異なる特徴をたくさんもっています。なかでも注目したいのが、細長く特殊な形をした中指です。

アイアイは、木の幹を中指で軽くトントンたたき、音の響きから中に虫が潜んでいる場所を探します。獲物を見つけると、前歯で木に穴を開け、細長い中指をすばやく差し込んで虫をかき出します。そして、器用に口元へ運んで食べるのです。

上野動物園では、アイアイが前歯を使う様子を観察できるよう、穴の開いていない竹筒に餌を入れています。また、細長い中指で餌を取り出す様子を観察しやすいよう、透明な筒にも餌を入れています。観察するときは、中指の動きだけでなく、大きな耳を動かしながら餌を探す姿や、前歯で竹筒をかじる様子にも注目してみましょう。上野動物園に来て、アイアイをぜひ観察してください。

動物園の“かお”

多摩動物公園
ゴールデンターキン



6月11日生まれの子(オス。写真下)と母ナズナです。子どもだけに見られる背中濃いのラインが、まだ目立ちます。野生では山岳地帯に生息しているため、子どもでも軽々と崖を登ります。

令和8年8月26日撮影